

## 『資本論』第1巻第24章第2節「農村住民からの土地の収奪」

江原 慶

2014年10月16日

### S.744-751 独立自営農民の凋落

#### ■S.744- 独立自営農民の社会 (14c 終わりから 15c)

- 「人口の非常な多数が自由な自営農民から成っていた」
- 共同地の用役権を持つ

「人民の富を許したが、しかし資本の富を許さなかった」

#### ■S.746- 耕地の牧羊地化 (15c の最後の 1/3 と 16c の最初の数十年)

- 大封建領主による農民の暴力的駆逐 → プロレタリアートの創出  
← 「フランドルの羊毛マニユファクチュアの興隆とそれに対応する羊毛価格の騰貴」
- 立法による牧羊場化の阻止の失敗  
「資本主義体制の要求したものは、これ [ヘンリ7世の条例] とは反対に、民衆の隷属状態、民衆自身の雇い人への転化、民衆の労働手段の資本への転化だった」

#### ■S.749- 教会領の横領 (16c)

宗教改革 → 教会領は「国王の強欲な寵臣に与えられるか、または捨て値で投機師的な借地農業者や都市ブルジョアに売り渡され」た

→ 「旧来の世襲領民」の駆逐・「貧困農民に保証されていた教会十分の一税の一部分の所有権」の没収

→ エリザベス救貧法の制定

#### ■S.750- 独立自営農民の消滅 (1750 年)

- 17c の最後の数十年も、独立自営農民は借地農業者より多かったが、1750 年には消滅し、18c の最後の数十年には共同地の痕跡も消える
- 「ステュアート王政復古の下では土地所有者は法律で横領を成し遂げたが、大陸では法律的な回り道なしで行われた」

### S.751-752 国有地の横領

名譽革命 → 「地主的および資本家的利殖者たちをも支配者の地位につけた」

- 国有地は「贈与され、捨て値で売られ、または直接的横領によっても私有地に併合された」
- 「ブルジョアの資本家たちはこの処置を助けたのであるが、その目的は、なかんずく、土地を純粋な取引物に転化させること、農業大経営の領域を拡大すること、農村から彼らへの無保護な vogelfreier プロレタリアの供給をふやすことなどにあった」
- 「その上に、新たな土地貴族は、新たな銀行貴族や、孵化したばかりの大金融業者や、当時は保護関税に支持されていた大製造業者たちの自然的な盟友だった」

### S.752-756 共同地の横領

- 150 年にわたる立法による無駄な抵抗

→18cになると「共同地囲い込み法案」＝「地主が人民共有地を私有地として自分自身に贈与するための法令」が出されるようになる

- 一方で地主の恣意に依存する小規模借地農業者が現れ、他方で「大借地農場の膨張を助けたのであり、また農村民を工業のためのプロレタリアートとして「遊離させる」ことを助けた」

#### ■S.753-「共同地の囲い込み」に関する論戦

反対 「これ [開放地と既耕地の囲い込み] が大借地農場の独占を甚だしくし、生活手段の価格を高め、人口減少を引き起こす」

「荒蕪地の囲い込みでさえも、貧民からはその生計手段の一部を奪い、すでに大きすぎる借地農場をさらに膨張させる」

「小借地農業者」に「他人のための労働」を余儀なくさせ、「都市と工業とは大きくなるであろう」

「全体として下層人民階級の状態は、ほとんど全ての点から見て悪化し、比較的小さい土地所有者や借地農業者は、日雇人や常雇人の地位まで押し下げられている」

擁護 「開放地で労働を浪費する人々が見られないからといって人口減少が生じているとするのは正しい結論ではない」

「彼らの結合された労働が、一つの借地農場で使用されれば、生産物は増大するであろう。かくして、工業のための余剰生産物が形成され、またそれによって、この国民の金鉱の一つである工業が、生産された穀物量に比例して拡大される」

「快適な」結論的回想：「耕地と牧地との間の適当な割合が設けられなければならなかった」

#### ■S.756- 農耕者と共同地との関連の記憶の消滅 (19c)

##### S.756-761 「いわゆる地所の清掃」

「もはや掃き捨てられるべき独立農民の存しない今では、ついに小屋の「清掃」にまで進んでいるので、農業労働者は、彼らの耕す土地自体の上にはもはや自分の住むために必要な空間を見出さない」

しかし「本来の意味における「土地の清掃」は、高地スコットランドに見られる、

- 耕地の牧羊場化
- 海浜の賃貸
- 牧羊場の狩猟場化

#### 論点・疑問点

##### ■農業革命の二側面

「ここでは農業革命の純粋に経済的な原動力は見ないことにする。ここでは農業革命の暴力的槓桿を問題にするのである」(S.751)

「農業革命の純粋に経済的な原動力」の内容およびその捨象の理由

##### ■イギリス資本主義の勃興をどう捉えるか

関連 ( ) 「羊毛生産のための囲い込みによる独立自営農民のプロレタリア化」に還元されてきたが、どう見直すか、

- 独立自営農民の駆逐 → 牧羊場化
- 国有地の横領・「共同地の囲い込み」 → 借地農場の膨張